

南房総市交流複合施設「いこっと」内カフェ運営事業者
公募プロポーザル実施要領

令和8年1月

南房総市教育委員会

生涯学習課

	目次	頁
1 趣旨	1
2 施設の概要	1
3 カフェスペース等の概要	1
4 業務内容及び条件	2
5 応募資格	4
6 選定方法	5
7 スケジュール	6
8 現地確認会の実施	6
9 質問・回答	7
10 提出書類	7
11 プレゼンテーション審査	8
12 その他	8
13 担当窓口・問い合わせ先	9
【提出書類様式】	10
様式1 参加表明書（兼 応募資格確認書）	10
様式2 企画提案書	11
様式3 収支計画書（概算）	12
様式4 誓約書	13
様式5 質問書	14
（参考）行政財産使用許可申請書	15

南房総市交流複合施設「いこっと」内カフェ運営事業者公募プロポーザル実施要領

1 趣旨

本要領は、南房総市交流複合施設「いこっと」（以下「本施設」という。）内に設置するカフェスペース（以下「カフェ」という。）において、来館者の利便性向上及び地域の賑わい創出を図るため、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 238 条の 4 第 7 項並びに南房総市行政財産使用料条例（平成 18 年 3 月 20 日条例第 63 号）の規定に基づき、行政財産の使用許可を受けてカフェの運営を行う事業者（以下「運営事業者」という。）を公募型プロポーザル方式により選定するために必要な事項を定めるものである。

2 施設の概要

(1) 施設名称

南房総市交流複合施設「いこっと」

(2) 所在地

南房総市千倉町忽戸 250 番地 1

(3) 施設の目的

本施設は、図書館とコミュニティセンター機能を中核とし、多世代が交流し、地域の賑わいを創出する複合施設として整備されたものである。カフェは施設利用者の利便性向上と滞在時間の延長、地域コミュニティの形成を促進する重要な役割を担う。

(4) 開館時間・休館日

- ・ 開館時間：午前 9 時から午後 10 時まで
- ・ 休館日：12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで

3 カフェスペース等の概要

(1) 使用許可対象エリア

①カフェ厨房区画

- ・ 面積：13 m²
- ・ 位置：別紙図面 1「平面図」の赤枠部分参照
- ・ 用途：飲食物の簡易調理・準備、食器等洗浄、食材・商品等保管等

②共用休憩エリア

- ・ 面積：28 m²
- ・ 位置：別紙図面 1「平面図」の青枠部分参照
- ・ 性質：本施設の全利用者が自由に使用できる共用スペースであり、簡易な看板、トレイ返却台やカフェ専用ゴミ箱等を除きカフェ運営事業者による什器備品類の設置はできない。
- ・ 利用範囲：事業者は施設利用者に対してカフェメニューを提供できるが、座席の予約・確保等はない。

③共用休憩エリアの管理区分

- ・ 座席・テーブルの清掃：日常清掃は市だが、営業中の汚損対応は事業者が対応
 - ・ カフェ食器類の回収・洗浄：事業者が実施
 - ・ 混雑時の対応・長時間滞在への対応：都度、市と事業者が協議して対応
- ※詳細な運用ルールは、市と事業者との使用許可契約締結時に別途定める。

(2) 市が提供する既設設備

市は以下の設備を事業者に提供する。事業者はこれらの設備を次の市に支払うべき 4. (4) 行政財産使用料並びに(5)光熱水費の支払いによって使用できる。ただし、事業者が提案する営業内容（調理方法、提供メニュー等）により追加設備が必要となる場合、その設備設置費用は事業者負担とする。

- ・ 電気設備（電源）
- ・ 給排水設備（給水排水各 1 箇所）
- ・ シンク 2 台

(3) 事業者が用意する設備・備品

①事業者は自己の責任と費用において、以下の設備・備品を事業内容に応じて用意すること。

- ・ 冷蔵庫・冷凍庫
- ・ 製氷機（提供メニューに応じて）
- ・ 加熱機器（電磁調理器等 ※カセットコンロやガス配管工事など火気伴うものは不可）
- ・ 調理器具一式
- ・ 食器・カトラリー類
- ・ レジスター・POS 機器（キャッシュレス決済対応推奨）
- ・ 配膳用トレイ、トレイ返却台
- ・ ごみ箱（分別対応）
- ・ 看板・メニューボード
- ・ 装飾・照明器具（補助的なもの）
- ・ その他事業者にて営業に必要とする備品

②注意事項

- ・ 事業者が持ち込む機器の設置及び撤去にかかる費用は、すべて事業者の負担とする。
- ・ 既設設備への固定が必要な場合は、事前に市の承認を得ること。
- ・ 契約終了時は原状回復義務を負う（詳細は使用許可時の契約による）。

(4) 自動販売機コーナーについて

①競合の可能性と運営の機会

本施設には、来館者の利便性確保を目的とした「自動販売機コーナー」が別に設置されており、当該コーナーでの飲料販売等はカフェ事業と一部競合する可能性があるが、市では、施設管理の一元化及びカフェ事業との相乗効果の観点から、カフェ運営事業者が当該コーナーにおいても自動販売機を設置・運営することを推奨する。

②提案と協議

カフェ運営と併せて自動販売機の設置・運営を希望する場合は、企画提案書にその旨（設置計画、管理方法等）を記載すること。

なお、自動販売機を設置する場合の行政財産使用料及び光熱水費等の条件については、カフェ部分とは別に、選定後の契約（協定）条件協議において決定する。

③審査結果への影響

上記①及び②については、提案の有無に拘わらず審査結果に影響しない。

4 業務内容及び条件

(1) 業務内容

①飲食提供業務

- ・ コーヒー等飲料の提供
- ・ 軽食（サンドイッチ、パン、菓子類等）の提供
- ・ 上記に付随するサービス業務
- ・ テイクアウト対応（推奨）

②施設管理業務

- ・ カフェ厨房区画の清掃・衛生管理
- ・ 共用客席における食器類の回収・洗浄
- ・ カフェ運営に伴うごみの分別・処理
- ・ 厨房設備の日常点検・軽微な修繕

③地域貢献業務（努力義務）

- ・ 南房総産食材（加工品含む）の積極的な活用
- ・ 施設内イベントへの協力（ブックカフェイベント、読書会等）
- ・ 地域情報の発信（イベント等のチラシ等設置、SNS 等への投稿など）
- ・ 環境配慮（プラスチック類の削減、食品ロス削減等）

(2) 営業時間・営業日

①営業時間

- ・ 原則：午前 9 時から午後 5 時
※なお、本施設の開館時間内であれば、市の承認を得て営業時間を変更できる。
- ・ 季節・曜日による営業時間の柔軟な設定を認める。

②定休日

- ・ 原則：本施設の休館日に準ずる
※ただし、月 1 回を限度として独自の定休日を設定できる。
- ・ 季節・曜日による定休日の柔軟な設定を認める。

③臨時休業

- ・ やむを得ない事由により臨時休業する場合は、可能な限り事前に市に協議するとともに利用者に通知すること。

(3) 使用許可期間

使用許可の日から令和 11 年（2029 年）3 月 31 日まで（概ね 3 年間）
（令和 8 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日までを想定）

(4) 行政財産使用料

南房総市行政財産使用料条例に基づき算定した以下の額とする。

- ・ 年額 141,600 円
- ・ 納入期限：初年分を除き、毎年 4 月末日までに当年分を納入すること。
- ・ 市は、社会情勢や物価の変動等により条例に基づく使用料が改正された場合は、行政財産使用料を改定する。

(5) 光熱水費

- ・ 電気料、水道料ともカフェスペース用の子メーターの指針により算定した額を、市の発行する納入通知書により支払うこと。

(6) 使用許可の更新

- ・ カフェ運営事業者と市との間での合意により、使用許可（契約）期間の延長は可能とする。
- ・ 更新の判断は、営業実績（年間営業日数、売上推移等）、施設利用者からの評価、法令遵守状況、地域貢献活動の実績等を総合的に勘案して行う。
- ・ 事業者が契約を誠実に履行し、重大な違反がない場合は、他事業者との比較選考を行わず優先的に更新協議を行う。
- ・ 使用許可期間満了の 6 箇月前までに事業者は更新意向の有無を市に通知すること。
- ・ 使用許可申請並びに使用契約の締結はその都度申請すること。
- ・ 更新時の使用料や各種条件は、その時点の市条例・規則に基づき決定する。

(7) 許認可の取得義務

①事業者の責任

- ・ 本業務の実施に当たり、食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）に基づく「飲食店営業許可」をはじめとする関係法令等による許可等の要否を、事業者の責任において確認すること。
- ・ 許可等が必要な場合は、事業者の責任と負担において、開業日までに不備なく手続きを完了させること。

②既設設備の取扱い

- ・ 許可の前提条件となる市が準備する設備は、原則として事業者側にて手を加えることはできないので、その前提において営業の内容を工夫検討し、食品衛生法の許可を得ること。

- ・ ただし、以下の場合には市との事前協議の上、変更を認める場合がある。
 - イ. 保健所から追加が容易な設備の設置を求められた場合
 - ロ. 既設設備の機能不全が判明した場合
 - ハ. より良いサービス提供のため市が必要と認めた場合
 - ・ 上記の場合は変更に必要な費用分担は市との協議で決定し、原状回復義務は免除されるものとする。
- ③許可取得後の義務及び許可取得不能時の措置
- ・ 事業者は営業許可を取得したときは、直ちにその写しを市に提出するとともにカフェ厨房区画内に掲示すること。
 - ・ 本実施要領により選定された事業者は、速やかに所轄保健所と事前相談を行い、その結果を市に報告すること。
 - ・ 事業者の責めに帰すべき事由により営業許可を取得できない場合、市は使用許可を取り消すことができる。

5 応募資格

本プロポーザルに参加できる者は、次に掲げる要件を全て満たす者とする。ただし(8)は望ましい要件とする。

- (1) 地域要件（いずれかに該当すること）：
 - 南房総市民または南房総市内に営業拠点を有する個人または法人
- (2) 欠格事由に該当しないこと

地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定に該当しない者であること。

※参考：同条に規定する欠格事由（抜粋）

 - ・ 成年被後見人・被保佐人
 - ・ 破産手続き開始の決定を受けて復権を得ない者
 - ・ 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わり、または執行を受けることがなくなった日から 2 年を経過しない者
 - ・ 地方公共団体において贈収賄等の刑に処せられ、その執行を終わり、または執行を受けることがなくなった日から 2 年を経過しない者
- (3) 指名停止措置を受けていないこと

南房総市から指名停止措置を受けていないこと。
- (4) 税の滞納がないこと

国税、千葉県税及び南房総市税を滞納していないこと。
- (5) 営業許可取得の見込みがあること

食品衛生法等に基づく必要な営業許可等の要件を満たし、当カフェ営業に関し確実に許可の取得ができる見込みがあること。
- (6) 食品衛生責任者を定めること

当カフェ運営に係る食品衛生法施行令に基づく食品衛生責任者の資格保有者（または開業までに資格取得が可能な者）を定めること。
- (7) 暴力団等との関係がないこと

自己または自社の役員等が、南房総市暴力団排除条例（平成 24 年 3 月 19 日条例第 2 号）第 2 条各号に規定する暴力団、暴力団員もしくは暴力団員等またはこれらと密接な関係を有する者に該当しないこと。
- (8) 事業継続能力があること（望ましい要件）

以下のいずれかに該当することが望ましい（必須条件ではない）

- ・ 飲食店の経営実績が1年以上あること。
- ・ 飲食店での勤務経験が3年以上あること。

6 選定方法

(1) 選定委員会の設置

以下により構成する選定委員会を設置し、審査選定を行う。

なお、選定委員会の委員に、応募者と利害関係がある者が含まれることが判明した場合、当該委員は該当する応募者の審査から除斥される。この場合、当該委員以外の委員により審査を行う。

除斥された委員は、他の案件の審査には引き続き委員として参加する。

①構成（5名以上）

- ・ 選定委員会は、南房総市職員及び識見を有する者など、市長が任命する5名以内の委員をもって構成する。なお、公平性を期すため、委員の氏名及び職名は審査終了まで公表しない。
- ・ 事務局：生涯学習課

②審査方法

- ・ 書類審査（企画提案書・収支計画書）及びプレゼンテーション審査を実施
- ・ 審査基準に基づき各委員が採点し、合計点の高いものを選定する。

③審査の公開

- ・ プレゼンテーション審査は原則非公開とする。
- ・ 選定結果は各応募者に対し書面にて通知するとともに、市ホームページで公表する。

(2) 審査基準（合計100点）

評価項目	配点	評価の視点
実施体制・確実性	25点	<ul style="list-style-type: none">・ 営業許可取得の確実性・ 食品衛生管理計画の具体性（HACCP準拠）・ スタッフ配置計画の妥当性・ 営業時間・営業日の設定・ 事業継続性（経営基盤の安定性）
コンセプト・企画力	40点	<ul style="list-style-type: none">・ 施設の設置目的（交流・賑わい創出）との整合性・ 魅力ある店舗づくりの提案・ ターゲット層の明確化とアプローチ方法・ メニュー構成の独自性・魅力・ 価格設定の妥当性
地域貢献活動	35点	<ul style="list-style-type: none">・ 南房総食材（加工品等含む）の積極的な活用（具体的な食材名・仕入先）・ 地元事業者との連携体制・ 地域コミュニティ活性化への貢献・ 施設内他機能（図書館等）との連携アイデア・ 環境配慮（SDGs）への取組・ イベント企画・情報発信の提案

(3) 選定結果

- ・ 最高得点者を選定候補者とする。
- ・ 最高得点者が60点未満の場合は、選定を見送ることがある。
- ・ 同点の場合は、「コンセプト・企画力」の得点が高い者を優先する。
- ・ 選定候補者との契約（協定）条件について協議し、合意に至った場合に正式決定する。

7 スケジュール（予定）

項 目	日 程
公募開始（当要領配布）、市ホームページ公開	令和8年1月26日
現地確認会への参加申込期限	〃 2月 4日 17:00
現地確認会	〃 2月 5日 14:00～16:00
質問受付期限	〃 2月12日 17:00
質問回答一覧表の情報提供と公開	質問受付期限から2週間以内
参加表明書及び企画提案書提出期限	〃 3月 9日 17:00
プレゼンテーション審査会	〃 3月12日
選定結果通知と公表	〃 3月16日
契約（協定）条件協議	〃 3月19日まで
行政財産使用許可申請と許可	〃 3月末まで
契約（協定）書締結	〃 3月末まで
各種許可申請手続き・開業準備	〃 3月末以降
営業開始（オープン）	〃 4月1日以降

注意事項

- ・4月1日オープンを目指すが、許認可の取得状況により変動する場合がある。
- ・上記日程はあくまで予定であり、変更する場合がある。
- ・変更する場合は、市ホームページで公表する。

8 現地確認会の実施

(1) 目的

応募予定者に対し、カフェスペース、既設設備、施設全体の状況を確認する機会を公平に提供する。

(2) 開催要領

- ・日時：令和8年2月5日（木） 14:00 から 16:00
- ・集合場所：南房総市交流複合施設 「いこっと」 旧忽戸幼稚園跡地（駐車場）
- ・参加方法：事前申込制（定員なし、参加費無料）
- ・参加申込期限：令和8年2月4日 17:00 まで
- ・申込先：下記「13 担当窓口・問合せ先」

(3) 当日の内容（予定）

- ①施設概要説明（15分）
- ②カフェ厨房区画・共用客席エリアの現地確認（30分）
- ③既設設備の説明と確認（15分）
- ④質疑応答（30分）
- ⑤自由見学（20分）

(4) 持参物

- ・メジャー（寸法確認用）
- ・カメラ（記録用、フラッシュ不可）
- ・筆記用具

(5) 注意事項

- ・現地での個別相談には応じない。

- ・ 現地確認会終了後に質問がある場合には、次の「9. 質問・回答」に定める方法により質問すること。
- ・ 参加は任意であり、参加しなかったことによる不利益はない。

9 質問・回答

(1) 質問方法

- ・ 本プロポーザル実施について質問がある場合は、別紙様式 5 「質問書」に記載の上、別記「13 担当窓口・問合せ先」まで持参、電子メールまたは郵送により提出すること。
- ・ 電話による質問は受け付けない。

(2) 質問受付期限

- ・ 日時：令和 8 年 2 月 1 2 日（木）17：00 必着

(3) 回答方法

- ・ 市は受け付けた質問及び回答を一覧表にまとめ、全応募者に対し公平に情報提供する。
- ・ 質問者の氏名・法人名は公表しない。
- ・ 質問の内容が特定の応募者に有利または不利になると認められる場合は、質問内容を一部修正して公表することがある。

(4) 回答公開

- ・ 質問受付期限から 2 週間以内に市ホームページに全質問・回答を掲載する。
- ・ 質問者には E-mail でも回答する。

10 提出書類

(1) 提出書類一覧

No.	書類名	様式	備 考
1	参加表明書（兼 応募資格確認書）	様式 1	必須
2	企画提案書	様式 2	必須、A4 版 5 枚以内
3	収支計画書（概算）	様式 3	必須
4	誓約書	様式 4	必須
5	住所または本店所在地確認書類	—	必須 個人：住民票の写し（3 箇月以内） 法人：登記事項証明書（3 箇月以内）
6	納税証明書	—	必須 市税の完納証明書（3 箇月以内）
7	会社案内・パンフレット等	—	任意
8	飲食店経営実績を証明する書類	—	任意（営業許可証の写し等）

(2) 提出期限

令和 8 年 3 月 9 日（月）17：00（必着）

(3) 提出方法

① 持参の場合

- ・ 別記「13 担当窓口・問合せ先」まで持参すること。
- ・ 受付時間：平日 8：45 から 17：00 まで

② 郵送の場合

- ・ 別記「13 担当窓口・問合せ先」に簡易書留または宅配便により送付すること。

(4) 提出書類の取扱い

- ・ 提出された書類は返却しない。提出期限後での書類の差し替え、追加、変更は認めない。
- ・ 審査終了後、提案内容の公表に同意すること。ただし、事業者の営業秘密に関する事項は非公開とする。

11 プレゼンテーション審査

(1) 対象者

提出書類に不備がなく、応募資格を満たす応募者全員。

(2) 開催日時

令和8年3月12日（木）

※具体的な時間は、対象者ごとに別途通知する。

(3) 場所

市役所本庁舎第一会議室及び第二会議室（事業者控所）

(4) 方法

- ① プレゼンテーション：各 10 分以内
- ② 質疑応答：10 分程度
- ③ プレゼンテーション機器：プロジェクター、スクリーン、電源（市が用意）
- ④ 応募者側持込機器：パソコン等は応募者が用意すること。（HDMI 接続）

(5) 注意事項

- ・ 欠席した場合は審査対象外とする。
- ・ 代理人によるプレゼンテーションは原則認めない。
- ・ やむを得ない事由により欠席または代理人による実施を希望する場合は、事前に市に相談すること。

12 その他

(1) 準拠法令等

その他使用に関しては、以下の法令・条例に基づくものとし、使用にあたって疑義が生じた場合は、その都度市と協議して決定する。

- ・ 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）
- ・ 個人情報保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）
- ・ 食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）
- ・ 南房総市行政財産使用料条例（平成 18 年 3 月 20 日条例第 63 号）
- ・ 南房総市暴力団排除条例（平成 24 年 3 月 19 日条例第 2 号）
- ・ 南房総市交流複合施設「いこっと」の設置及び管理に関する条例（令和 7 年南房総市条例第 23 号）
- ・ 同施行規則
- ・ 南房総市財務規則（平成 18 年規則第 44 号）
- ・ 南房総市個人情報の保護に関する法律施行条例（令和 5 年 3 月 23 日条例第 1 号）
- ・ その他関係法令

(2) 経費負担

- ・ プロポーザルへの参加に要する経費（提案書作成費、交通費等）は、すべて応募者の負担とする。
- ・ 選定されなかった場合の補償等は一切行わない。

(3) 提案内容の実現義務

- ・ 選定された事業者は、提案内容を誠実に実施する義務を負う。
- ・ 正当な理由なく提案内容を変更する場合は、 契約解除の対象となる場合がある。

(4) 行政財産の使用許可申請

- ・ 選定された事業者は、南房総市財務規則第 230 条に基づく行政財産の使用許可申請（同規則に定める様式を使用）を行い市長の許可を得ること。
- ・ 許可期間満了後の更新の際も同様とする。

(5) 協定書の締結

- ・ 選定された事業者は、使用許可を受けた後、市と別途「南房総市交流複合施設「いこっ」と」内カフェ運営に関する協定書」を締結する。
- ・ 協定内容は、本実施要領及び提案内容を基本とする。
- ・ 協定締結にあたり、その他覚書等の取り交わしが必要な場合は、別途協議する。

(6) 個人情報の取扱い

- ・ 提出された書類に含まれる個人情報は、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）及び南房総市個人情報保護条例（令和 5 年 3 月 23 日条例第 1 号）に基づき適切に管理する。
- ・ 個人情報は選定業務の目的以外には使用しない。

(7) 選定の取消

以下の場合、選定を取り消すことがある。

- ・ 提出書類に虚偽の記載があった場合
- ・ 応募資格要件を満たしていないことが判明した場合
- ・ 正当な理由なく契約締結を拒否した場合
- ・ その他、市が不適当と認めた場合

13 担当窓口・問合せ先

南房総市教育委員会生涯学習課スポーツ振興係 担当者：佐藤泰幸

住所：〒299 - 2592 千葉県南房総市岩糸 2489 番地

電話：0470 - 46 - 2964

e-mail：shogai@city.minamiboso.lg.jp

【様式 1】

南房総市交流複合施設「いこっと」内カフェ運営事業者公募プロポーザル
参加表明書（兼 応募資格確認書）

令和 年 月 日

南房総市長

様

住所または所在地

商号または名称

代表者職氏名

印

南房総市交流複合施設「いこっと」内カフェ運営事業者公募プロポーザルについて、実施要領の内容を承諾の上、下記のとおり参加を申し込みます。

なお、本申込にあたり、実施要領「5. 応募資格」に定める要件をすべて満たしていること及び添付書類の内容について事実と相違ないことを誓約します。

商号または名称	(フリガナ)
代表者職氏名	(フリガナ)
住所または所在地	〒 —
担当者職氏名	(フリガナ)
連 絡 先	電話番号 E-mail

【応募資格要件の確認】（該当する項目にチェックを入れてください。）

1 地域要件

- ☐ 南房総市民または南房総市内に営業拠点を有する個人または法人である。

2 欠格事由等の確認

- ☐ 地方自治法施行令第 167 条の 4 の規定に該当しない者である。
- ☐ 南房総市から指名停止措置を受けていない。
- ☐ 国税、千葉県税及び南房総市税を滞納していない。
- ☐ 暴力団、暴力団員または暴力団員等に該当しない。
- ☐ 食品衛生法等に基づく必要な営業許可等の要件を満たし、確実に取得できる見込みがある。
- ☐ 食品衛生責任者の資格保有者を配置できる。または開業までに資格取得可能である。

3 事業継続能力（任意項目）

- ☐ 飲食店の経営実績が 1 年以上ある。
- ☐ 飲食店での勤務経験が 3 年以上ある。

【様式2】

企 画 提 案 書

提案件名： 南房総市交流複合施設「いこっと」内カフェ運営事業

商号または名称	
店舗名（予定）	

【作成要領】

概ね以下の項目及び内容を別紙にて具体的に記述してください。

- ・ 枚数：A4 版 5 枚以内（横書き）
- ・ 文字サイズ：11 ポイント以上推奨
- ・ 図表・写真：適宜使用可（5 枚の制限に含む）
- ・ 補足資料：メニューサンプル、店舗イメージ写真等は別途 3 枚以内で添付可

【記載項目】

- 1 コンセプト・店舗づくり
 - ・ 「いこっと」の施設趣旨（交流・賑わい）をどのように解釈し、どのような雰囲気のカフェにするか。
 - ・ ターゲット層（利用者）の想定と、それに対するアプローチ
 - ・ 店舗デザイン・雰囲気づくり
- 2 提供メニューと価格設定
 - ・ 主な提供メニュー（ドリンク、軽食等）のラインナップと価格帯
 - ・ メニュー開発（ラインナップ）の考え方
 - ・ 南房総産の食材をどのように活用するか。（具体的な食材名や仕入れ先など）
 - ・ 客単価の想定
- 3 地域コミュニティとの連携
 - ・ 施設内の他機能（図書館やホール等）との連携アイデア
 - ・ 地元事業者としての強みを活かしたイベント企画や情報発信の方法
 - ・ 地元生産者・加工業者との協力関係
- 4 運営体制・衛生管理・スケジュール
 - ・ スタッフの配置計画、営業時間。
 - ・ 衛生管理の具体的な方針。
 - ・ 食品衛生法に基づく営業許可取得に向けた準備状況とスケジュール。
- 5 客数・売上向上に対する工夫
 - ・ 集客向上の工夫
 - ・ 売上向上の工夫
 - ・ 利用促進のアイデア

【様式 3】

収 支 計 画 書 (概算)

※3 年間の収支見込みを概算で記入してください。

(単位：円)

項 目	1 年目 (令和 8 年度)	2 年目 (令和 9 年度)	3 年目 (令和 10 年度)	備考 (積算根拠)
【収入の部】				
売上収入				客単価〇〇円×〇 人×〇日で試算
その他収入				
収入合計 (A)				
【支出の部】				
原材料費				売上の〇〇%
人件費				
行政財産使用料				※実施要項 4 (4) に記載の定額を記 入
光熱水費 (電気・水道料)				※子メーター読み による市からの請 求額による
消耗品費				食器、包材等
広告宣伝費				チラシ、SNS 広告 等
保険料				損害賠償責任保険
減価償却費				設備備品の償却
その他経費				※説明を記入
支出合計 (B)				
【収支差引】				
利益 (A) - (B)				

【初期投資計画】

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
厨房機器購入費		冷蔵庫、製氷機、調理器具等
什器・備品購入費		テーブル等
内装、看板工事費		装飾、看板、照明等
その他開業費		許可申請手数料、広告費等

(資金調達方法： 自己資金 〇〇〇円 / 借入金 〇〇〇円)

南房総市長 様

住所または所在地
商号または名称
代表者職氏名

印

誓 約 書

私は、南房総市交流複合施設「いこっと」 内カフェ運営事業者公募プロポーザルへの参加にあたり、下記事項について誓約します。

なお、この誓約に反していることが判明した場合は、参加資格の取り消し、選定の取り消し、契約の解除等、貴市の措置に従います。

また、誓約事項の確認のために南房総市が関係官公署に対し調査を行うことに同意します。

記

1 応募資格

実施要領「5 応募資格」に定める要件をすべて満たしています。

2 提出書類の真実性

提出書類のすべての記載事項は、事実と相違ありません。

3 暴力団等の排除

自己または自社の役員等が南房総市暴力団排除条例第2条各号に規定する暴力団及び暴力団員等並びにそれらと密接な関係を有する者には該当しません。

4 誠実な業務遂行

選定された場合は、提案内容を誠実に履行し、南房総市の指示に従い、誠実に業務を遂行します。

5 営業許可の取得

選定された場合は、開業日までに食品衛生法に基づく飲食店営業許可を確実に取得します。

6 契約締結の義務

選定された場合は、正当な理由なく契約締結を拒否しません。

7 秘密保持

本プロポーザルを通じて知り得た南房総市の秘密情報を、第三者に開示または漏洩しません。

8 関係法令の遵守

事業実施にあたっては、食品衛生法、労働基準法その他関係法令を遵守します。

以上

【様式5】

質 問 書

件名： 南房総市交流複合施設「いこっと」内カフェ運営事業者公募プロポーザル

令和 年 月 日

南房総市教育委員会
生涯学習課スポーツ振興係 行

(提出者)

項 目	記 入 欄
住所または所在地	
商号または名称	
担当者氏名	
連絡先電話番号 (E-Mail)	

標記プロポーザルについて、以下のとおり質問します。

No.	該当箇所（ページ、条項）	質 問 内 容
1		
2		
3		

※質問が4件以上ある場合は、行を追加してください。

※1枚に収まらない場合は、複数枚での提出も可能です。

【注意事項】

- 質問は具体的かつ簡潔に記載してください。
記載欄が不足する場合は、適宜行を追加するか、別紙（様式自由）を添付してください。
- 該当箇所（実施要領のページ・条項）を明記してください。
- 回答は全応募予定者に公開されます。
- 質問者の氏名・法人名は公表されません。
- 提出期限：令和8年2月12日（木）17：00 必着
- 提出方法：持参、電子メール（shogai@city.minamiboso.lg.jp）または郵送により提出してください。

【参考様式】

南房総市財務規則 第106号様式（第230条関係）

<div style="text-align: right;">行政財産使用許可申請書</div> <div style="text-align: right;">令和 年 月 日</div> <div>南房総市長 宛</div> <div style="text-align: center;">申請人 住所</div> <div style="text-align: center;">氏名</div> <p>下記のとおり行政財産を使用させていただきます。</p>			
記			
使用財産の名称		所在地	
使用部分	区 分	<input type="checkbox"/> 土 地 <input type="checkbox"/> 建 物 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
	場 所		
	面積等		
使用目的			
使用期間			
その他必要な事項			